

一般社団法人 おおさき青年会議所

2024年度 おおさき花火大会プロジェクト 基本方針

歓呼 ～未来に継ぐ 大輪の花～

花火大会担当理事 菊地 雄大

1. 基本方針

おおさき花火大会は長きにわたり、我々が主体となり市民と企業、行政など多くの皆様の協力のもと地域の夏の風物詩として市民に親しまれ愛されてきました。不安定な社会情勢が続いている中でも開催方法を変更し、地域の希望と成るべく絶やすことなく大輪の花を咲かせた一方で、物価高騰、安全安心な開催における様々な問題も生じた中、持続可能な花火大会を次代に継承していくべく、不易流行の精神で大会を開催する必要があります。

まずは、市民の郷土愛を育み原風景となる花火大会を実施するために、先人から受け継がれてきた想いを継承するとともに、早期に関係団体との綿密な連携体制を構築することで、歴史と伝統ある事業の安全安心な開催に向けて円滑で効率的な運営基盤を確立します。

そして、おおさきへ笑顔の輪を広げる事業の実施に向けて能動的に運動する組織を実現するために、花火大会の重要性を共有し、会員一人ひとりに地域活性化運動への参画する自覚を促すことで、地域と協同して運動を推進する主催者としての当事者意識を高めます。

さらに、恒久的に笑顔溢れる市民の郷土愛を育み続けるために、関係団体と協働し、円滑な運営と会員が一丸となって歴史を紡ぐ安全安心なおおさき花火大会を開催することで、新たな開催の礎を確立し、次代へ紡ぐおおさきの夏の風物詩を持続可能なものとします。

また、地域が一体となり子供たちが希望を持ち続けられる明るいおおさきの未来を創出するために、開催場所、運営方法や資金に限らず、今後の花火大会に対する在り方を検証することで、これまで市民に愛され続けてきた原風景を恒久的に残す開催方法を示します。

花火には人々を上に向かせる力があり、責任世代である我々おおさき青年会議所と地域が一つとなった花火大会は次世代の担い手を育みながらおおさきの未来を見据え地域の明るい未来に向けて歩み、今後も地域が待ち望む持続可能な笑顔溢れる花火大会となります。